

(様式 1)

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県岩瀬スポーツ公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市森

3 施設設置年度
昭和52 年度

4 設置目的
県民誰もがスポーツやレクリエーションを楽しめることを目的として、昭和52年に開園した運動公園

5 施設概要
敷地面積：22.1ha
主な施設
・補助競技場：13,280㎡
・健康スポーツドーム：テニスコート2面砂入り人工芝 1,987㎡
・サッカー・ラグビー場：20,623㎡ フィールド（芝生舗装）165m×100m
・テニスコート：砂入り人工芝28面
・ソフトボール広場：4面

6 指定管理者
(株) 富山・スポーツパーク・マネジメント

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
152,260	177,714	202,403	198,668	199,248

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R2	R3	R4	R5	R6
16,119	16,885	18,334	17,075	18,169

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R2	R3	R4	R5	R6
17,503	17,503	17,503	17,503	17,552

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・利用者数は令和5年度比100.3% (580人増)、有料公園施設の料金収入は令和5年度比106.4% (1,094千円増)であった。
- ・テニスコートの安定的な供用が利用収入増加に繋がった。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・カブトムシの幼虫配布を実施し、県内から多くの子供たちが来園した。
- ・ノルディックウォーキング、インボディ測定を実施した。
- ・ヨガイベントを開催した。
- ・子供向けにスポーツチャンバラ体験会を開催した。
- ・園内北側入り口及び東テニスコート前に創作雪吊りを設置した。
- ・スマホによる利用料金の電子決裁導入を準備した(令和7年度より稼働)。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・ポイント制度の活用や、テニススクールの開校を継続して行い、テニスコートの利用促進に努めた。
- ・月締め請求書払いの団体を増やし、学校や社会人スポーツ団体による利用の利便性向上に努めた。
- ・大会利用での途中キャンセルをなるべく少なくしてもらうよう、各協会へ協力を呼びかけた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	イベント開催時にアンケートを実施。(5/11、6/29、8/2、11/17)
回答者数	102名
結果	90%以上がやや満足以上の結果
結果を踏まえた改善事項	引き続き利用者の高い満足度維持を目指していく。

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・ホームページ上から意見や苦情を受け付けた。
- ・アンケートを実施した。
- ・パークセンター内にアンケート回収箱を設置した。

③ 主な苦情と対応

- ・公園近隣の歩道でスズメバチを見かけたので苦情してほしい⇒近隣の巣の状況を確認し、発見した場合はただちに駆除した。

(5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関するプライバシーポリシーを定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

- ・「14歳の挑戦」として、富山市立岩瀬中学校2年生の生徒を受け入れ、補助をお願いした。
- ・岩瀬スポーツ公園ラジオ体操倶楽部による週1回の園内清掃ボランティアを実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・ソフトボール内野グラウンドの整備、テニスコートの人工芝の更新を行ってきたところであり、これらを活用した、県内外の学生団体の練習及び合宿先としての充実や、全国大会の誘致など、利用促進に向けてさらに取り組んでもらいたい。
- ・職員研修の充実を図るなどにより、多様化する利用者ニーズに対応できる体制づくりに努めてもらい、公園全体の認知度を更に高める取り組みに期待したい。